

関東フットベースボール連盟

「ルールについての勉強会」議事録

開催日時：2019年3月9日 午前10時より午後4時

会場：蕨市中央公民館

◆第4条 人数の表記変更

*決議事項 改定箇所は、添付ルール集の赤字箇所参照下さい。

以下同

◆第5条 回数の表記変更

*決議事項 別添ルール集の赤字参照下さい。

◆アピールプレイについて

- ・アピールプレイについて現行の解釈を審判部長が説明。
現行ではボールデッドもアピールが出来る事になっている。
- ・羽村市より1回目の笛を吹くタイミングについて確認ありました。
- ・栃木市よりアピールは、22条によりインプレイ中のみにすべきとの提案がなされ、アピールの出来る時間範囲を検討した。
栃木市は、アピールと抗議は異なるので、アピールはインプレイ中が妥当ではないかと主張されました。

討議の結果、ルールの解釈を統一。全員が承認。

*決議事項

アピールは、インプレイ中だけではなく、ボールデッド後も出来る事に決定した。また、アピールは、プレイのスタート迄であるので、次キッカーに対して1回目の笛が吹かれるまでとする。

(キャッチャーがサークルに入ってから、主審はプレイの1回目の笛を吹くこと)

◆ボールデッドについて

- ・ここで、栃木市から、ボールデッド後もアピールを認めるならば、関連項目として、ボールデッドの定義をルール集に入れなければならないとの提案があり、検討しました。

*決議事項

第23条10項にボールデッドの定義を入れることに決定した。

「野手が本塁ベースにボールをタッチした場合」

◆塁空過のジャッジについて

- ・塁の空過と未達は異なる」と審判部長、市川市から説明。
- ・昭島市、羽村市、栃木市、秩父市、蕨市より
塁の空過はすべてアピールによると変更する提案がありました。

「インプレイ中にエンドラインを出たらアウトであるので、ホームは主審がアウトを宣告出来る。」

- ・栃木市「安全に塁に戻る権利にあるように、塁を踏んだとみなすことが必要である。」

*** 決議事項**

空過、未達の解釈ではなく、塁の空過を審判が指示するのではなく、すべてアピールに対応する事で決定した。市川市も承認した。

- ・ホームランの走者が本塁を空過した場合も、主審はバック、及びランナーアウトのジャッジをしないことに決定した。
- ・会長より「子供たちはもとより、観客にもわかりやすいプレイとジャッジになるように」との要請がありました。

◆走塁妨害（オブストラクション）の定義について

- ・オブストラクションの判断基準（守備側の妨害が無ければ、次の塁がセーフとなる時）を審判部長が説明。

*** 決議事項**

- ・走塁妨害があった時、ボールデッドではなくプレイ続行となる。
- ・接触した塁のみ該当の審判が走塁妨害を宣告する。
（野手を指さし、ジェスチャーと走塁妨害を宣告する。次の塁がアウト、セーフのジャッジ前に宣告する。）

- ・昭島市から「二人で塁を塞いで、明らかに踏めない時は、走塁妨害を宣告しても良いのでは」との提案があり承認されました。

*** 決議事項**

ボール捕球動作に関係ない選手についても、ベースが塞がれるなどの状況の時、走塁妨害を宣告する。

- ・羽村市から「1 塁補助ベースを踏めない状況の時、内側ベースを踏んでも良いのでは」提案がありましたが、現行通り、「走者は1 塁補助ベースのみ踏むとする」承認されました。

◆走者の塁の放棄について

*** 確認事項**

- ・インプレイ中に、セーフであるのにエンドラインを出た時は、アウトを宣告する。
- ・インプレイ中に、三塁をオーバーランしてエンドラインを越えた時も同様である。

◆ルールの意図的な悪用プレイに対して

昭島市から、意図的にボールを蹴りだす、投げだす、キャッチャーサークルを出るなどの故意のプレイに対してのジャッジの確認がありました。

* 決定事項

- ・ 審判員とその任務（第 25 条 9 項）により、審判員はルールの悪用プレイに対応する。（拒むことが出来るので、プレイ続行となる）
- ・ 悪用することが無いように各市で指導して欲しい。

◆不正キックについて

蕨市からファウルキックの規定を明確にしたほうが良いと提案がありました。例えば、インステップキックなど。

* 決定事項

- ・ 第 15 条ファウル（1）に「インステップキック」を追記する。
- ・ **キッカーが、地面を蹴った時、ベースを蹴った場合でも、主審は蹴ったボールの勢いで判断をしてジャッジする。ベースが動いた、動かないで判断するのではない。**
- ・ 2 回蹴りは勿論、ファウル。

◆靴の規定について

- ・ 羽村市より、靴の形状規定（同一素材など）をルール集に追記したほうが良いとの提案がありました。

* 確認事項

スパイク禁止について全市が共通理解出来ているため、変更なしとした。

◆作戦タイムについて

* 確認事項

- ・ 延長時にも作戦タイムの回数を増やすことはしない。
- ・ 相手チームの作戦タイム時を利用して、同じ時間内であれば指示が出来る。しかし、フィールド内に入ることは出来ない。さらに、作戦タイム時に参加出来るのは、プレイヤーのみとする。ベンチの控え選手は入れない。

◆3 フィートについて

審判部長より 3 フィートルールの解釈説明。

* 決定事項

- ・ 第 19 条 4 項 2 行目「走者と塁を結ぶ」
註 3 行目も「走者と塁を結ぶ」に変更する。別紙参照
- ・ 約 1 メートルと表記変更はしない。

◆臨時交代の定義について

* 確認事項

- ・ 怪我の治療が終わるまでとする。

- 第 4 条第 4 項** ・ **1 度交代した選手は、臨時のプレイヤーになることができる。（ルール集通り）**
再出場は出来ない。
- ・ 臨時交代選手は、プレイ中の 9 人の選手から交代出場が出来ない。
（9 人しかいない場合も同様）

◆主審と塁審のジャッジ担当エリアについて

* 確認事項

- ・ダイヤモンド内は、主審がジャッジ。それ以外は、塁審がジャッジする。現行通り。
- さらに、エンドラインも内野エリアは主審、塁審が塁を超えたエリアをジャッジする。
- ・ルールには記載しない。

◆その他の決定・確認事項

- インプレイ中に走者がコーチャーに触れた時は、アウト。

(確認事項)

- 第13条4項 フェアボールの表記について

* 決定事項

第13条(4)に「・走者」を追加する。

- フェア、ファウルの判断

* 確認事項 ライン上、オンザラインはすべてフェア。

- アウト、セーフが同時タイミングのジャッジについて、質問があり

* 確認事項 同時は、なしとする。どちらが早いかを見極める。

- インターバル（水分補給など）の検討

* 確認事項 大会主催者が判断する。記載の必要なし

- ファウルボールが合法的に捕球されなかった場合の解釈について

栃木市よりファウルの後、キックされた飛球が確保された場合の検討提案がありました。(1回目のキックで、ファウルだがフライになり、捕球された時はアウト)

結論が出ないため、引き続きの検討事項としました。

現状のまま、ファウル動作が先にあるので、飛球が捕獲されてもファウルとする。

- 放棄試合の相手チームの点数

* 決定事項 第6条変更なし。15対0とする。

- 既定のキャプテンマークの付け方。

* 決定事項 第3条4項の「左胸に」を削除する。

- 2塁に向かう走塁を、ラインの判断ではなく、動作での判断にしたほうが良いとの提案がありました。(走者がラインを踏んだ場合)

結果、判断基準を共通にするため、ラインを踏んだかどうかでジャッジする。

* 決定事項

第19条12項(2)

打者が走者になり、1塁を走り越した後にフェア地域に入ったら、ポールタッチでアウトになる。

- スライディングは禁止。ベースが動いたかどうかではない。危険と判断したらアウトを宣告する。確認事項

- タイブレーク、コールドゲームについては、大会規定で決定、案内する。

令和元年5月11日（土）関東連盟連絡会で再確認した議事録。

・ルール勉強会の結果を踏まえて、以下の確認がありました。

① ホームの空過について（小松審判部長）

1 塁側、3 塁側の走者がインプレー中にエンドラインを出たらアウトを宣告する。

ホームベースは、インプレー中に走者が空過してエンドラインを出ても、主審はアウトを宣告しない。守備側の言葉とプレーのアピールによりジャッジする。

② 塁の空過を判断する走者の足の位置について（小松審判部長）

走者のベース到達は、塁審がジャッジする。足の位置がベースの横であれば、バックとする。

塁審のジェスチャーは、現在のセーフを改め、ベースを指すジェスチャーに変更する。

③ 臨時交代について（昭島市 福田氏）

一度交代した選手は、怪我の臨時プレーヤーになれないと勉強会で決定したが、ルール集 4 条 4 項には出場出来るとなっているので、怪我の交代出場可に変更する。

※各市にてこの変更点を伝達、確認下さい。勉強会の議事録変更。

④ 不正キックについて（小松審判部長、昭島市 福田氏）

勉強会の議事録には「ベースを蹴った時は蹴りそこないファウル」と

なっているが、「ベースを蹴っても、ボールのスピードでジャッジする」と

決定したので議事録訂正の要請がありました。

※「ベースを蹴っても、主審はボールのスピードでファウルかどうかをジャッジする」

に勉強会議事録の訂正し、各市での伝達をお願い致します。（甲山）

⑤ 予選結果が、2 チーム同率、3 チーム同率の場合の決定順は、大会要項に記載する。（従来通り）

⑥ タイブレークの設定について

現在の 2 アウト満塁の設定を、時間短縮のために今年度大会までに

各市で検証する。昭島市は、「2 アウト 2.3 塁」で行って時間短縮が

された。